

フード先付けの場合

マンションで外装工事を先に仕上げる場合、フードを先に取付けておくことができます。以下ではマンションへの据付けを想定して説明しています。

5-1. 壁穴工事

5-1-1. 壁穴工事

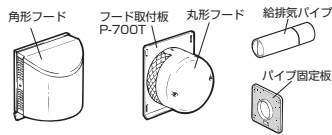
裏面を見る

5-2. 据付け前の準備

1. システム部材の用意

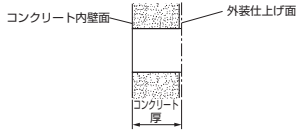
取付けには別売の室外フード、給排気パイプ、パイプ固定板が必要です。機種に適合するシステム部材を用意してください。

●角穴に丸形フードを使用する場合は、システム部材のフード取付板P-700Tの使用をおすすめします。



2. コンクリート厚を測定する

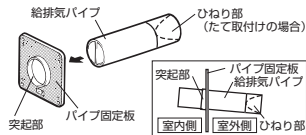
図を参照してコンクリート厚を測る。(コンクリート厚には外装仕上げ面厚さを含む)



3. 給排気パイプの挿入

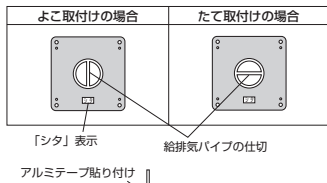
パイプ固定板に給排気パイプを挿入する。

●パイプ固定板には方向性があります。突起部が室内側になります。
●本体をたて取付けする場合は、給排気パイプのひねり部分を室外側にします。



4. パイプ固定板の位置決めと給排気パイプの仕切の方向

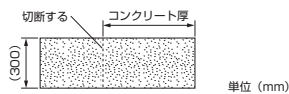
- パイプ固定板の上下方向を確認し、右図のように給排気パイプの仕切の方向を決める。
- コンクリート厚+「パイプ室外寸法A」を決め、その位置にパイプ固定板をセットする。
- 給排気パイプに同梱のアルミテープ(大)でパイプ固定板と給排気パイプを固定する。



室外フード	パイプ室外寸法A	
フード取付板なし	フード取付板 (P-700T) あり	
防火ダンパーつき	10mm	15mm
防火ダンパーなし	30mm	35mm

5. 断熱材の切断

断熱材をコンクリート厚寸法で切断する。



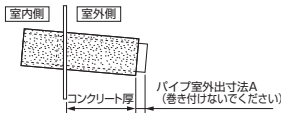
6. 断熱材の巻き付け

切断した断熱材を給排気パイプの室内側・室外側に巻き付ける。

●パイプ室外寸法Aについては、上記手順4の表を参照ください。

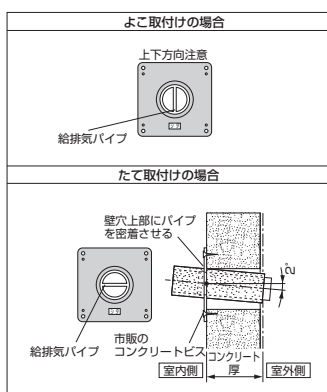
お願い

●断熱材はパイプ室外寸法Aには巻き付けられません。フードが取付けられなくなります。



5-3. 給排気パイプの取付け

- パイプ固定板の上下方向を確認し、給排気パイプを室内側から壁穴に通す。
- 室内側の給排気パイプが壁穴の上部に密着するようにパイプ固定板を位置決めする。
- コンクリートビスの固定位置(4か所)に印をする。
- 給排気パイプを一旦取り出す。
- コンクリートビスの予備穴を開ける。
- 給排気パイプを挿入し、パイプ固定板をねじ止める。(市販のコンクリートビス4本)



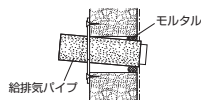
5-4. 室外側工事

1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間をモルタルなどでふさぐ。

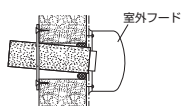
お願い

●給排気パイプには傾斜が必要です。ふさぐ際に上下に無理な力を加えずに仕上げてください。
●すき間をふさがないと雨水が浸入します。



2. 室外フードの取付け

室外フードの据付説明書に従い室外フードを固定する。



この時点で室外側の工事は完了です

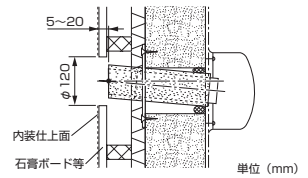
5-5. 内装工事

1. 給排気パイプの切断と内装仕上

- 内装仕上から給排気パイプ端部の寸法が5~20mm以内の範囲になるよう給排気パイプを切断する。

お願い

- 内装仕上から給排気パイプ端部の寸法(5~20mm)を守ってください。
- 内装仕上の給排気パイプ位置にφ120の穴を開ける。



2. 電源・連絡電線を引き出す

裏面5-1-2をご覧ください。

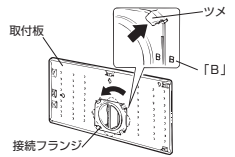
5-6. 取付板の取付け

1. 接続フランジの取付け

- 取付板に接続フランジを差し込む。
- 左回りに回転させる。
- ツメ4か所に引っ掛けて接続フランジを固定する。

お願い

- 取付板の刻印「B」とフランジ部の刻印「B」が合うように取付けてください。
- 同梱のパッキンは使用しません。
- フランジにツメが4か所ともかかっていることを確認してください。(製品背面が押されてシャッター動作不良の原因になります)

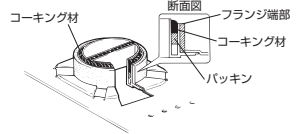


2. コーキング材の塗布

接続フランジにコーキング材を塗布する。

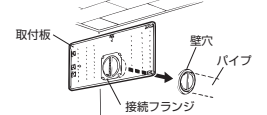
お願い

- フランジ端部より高く塗布してください。
- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング硬化前に次の作業を行ってください。



3. 接続フランジと給排気パイプの接続

接続フランジを壁内の給排気パイプに挿入する。

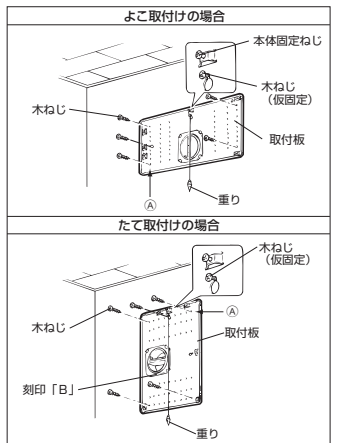


4. 取付板の固定

- 取付板を木ねじ1本で仮固定する。(最後に締めつけてください)
- 本体固定ねじ1本を本体吊用として取付板に取付ける。
- 重りを吊り下げて、取付板の水平(傾き1°以内)を確認する。(本体が傾いているとドレンパンから水がこぼれる場合があります(ドレンパン付))
- 補強材のある位置に木ねじ4本で取付板を固定する
- ④列中央を木ねじ1本で固定する。

お願い

- できるだけ4すみの均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)
- たて取付けの場合、刻印「B」が下側になるよう取付けてください。
- 電源・連絡電線取出位置と取付板との位置関係は正確に出してください。(取付板の位置がずれると電源・連絡電線取出穴が本体からはみ出してしまいます)

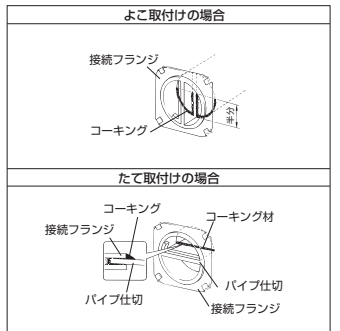


5. 接続フランジとパイプ接続部のコーキング

接続部の下から半分を内側からコーキングする。

お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材をつけたあと表面を平らにしてください。(コーキングが高すぎるとドレン水が排出されません)(ドレンパン付)

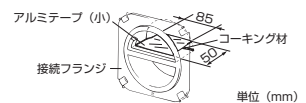


6. アルミテープの貼り付け(ドレンパン付) (たて取付けの場合のみ)

同梱のアルミテープ(小)を図のように貼る。

情報

- ドレンパン先端から出た水を流れやすくするために貼ります。



以降の工事は「フード後付けの場合」と同様に行ってください。

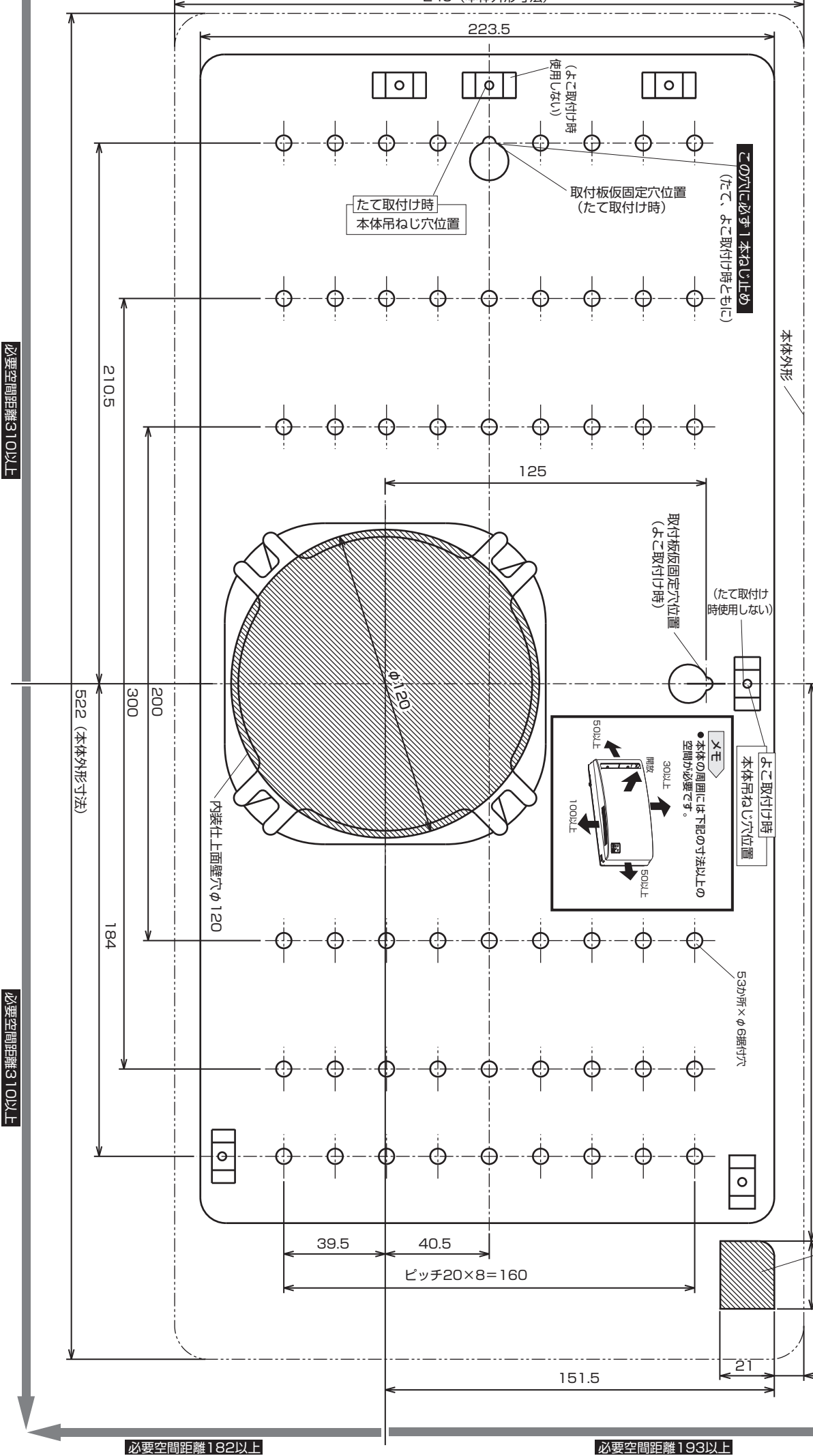
5-7. 本体の据付け ※「フード後付けの場合」の5-4参照

5-8. 電気工事 ※「フード後付けの場合」の5-5参照

5-9. パネルの取付け ※「フード後付けの場合」の5-6参照

裏面の「6. 据付け後の確認」および「7. 試運転」を行ってください。

たて（袖壁）取付けの場合（↑矢印の方向を上にしてください。）※この方向で据付けてください。（逆方向に据付けるとドレンが逆流し、内部を汚します）



必要空間距離310以上

必要空間距離310以上

必要空間距離182以上

必要空間距離193以上

5-1-1.壁穴工事

必要空間距離

変位寸法	A	B	C	D	E
よこ取付け	182	193	310	310	183
たて取付け	310	310	182	193	280

フューズ付付けの場合

1 据付位置・壁穴位置を決める

(1) 必要空間距離 (左図) を確認する。
 ● 室外から不快なおいを給気しない位置であるか確認する。
 ● 壁内の補強材が取付け板を固定できる位置にあるか確認する。

2 φ120の壁穴をあける

(1) 内径φ125のホイド管 (またはせや管) を入れ、コングリート壁を作る。
 (2) ホイド管 (またはせや管) を引き抜く。

3 外装壁面を仕上げる

フューズ付付けの場合

1 据付位置・壁穴位置を決める

(1) 必要空間距離 (左図) と (据付位置図) (右図) を確認し、壁穴位置を決める。

2 壁穴をあける

(1) 内径φ125のホイド管 (またはせや管) を入れ、コングリート壁を作る。
 (2) ホイド管 (またはせや管) を引き抜く。

3 外装壁面を仕上げる

5-1-2.電源・連絡電線の引き出し

電源・連絡電線を引き出す

(1) 電源・連絡電線取り出し位置を確認し、穴をあける。
 (2) 電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

※据付面が垂直 (傾き1°以内) であることを確認する。
 (壁が傾いているとドレンパンから水がこぼれる場合があります)

電源コード取り出し範囲